

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

地区代表 (3人)  
民生委員代表 (1人)  
青少年健全育成会代表 (1人)  
公民館代表 (1人)  
PTA会長・副会長 (2人)  
学校代表 (3人)

※地域コーディネーター (1名)  
中名田公民館長

### (2) 協議会の内容

第1回 (平成31年5月31日 (金) 19:30～)

- ・スクールプランについて
- ・児童の様子について 他

第2回協議会 (令和元年9月27日 (金) 19:30～)

- ・前期の取組状況について
- ・学校評価 (中間評価) 結果について 他

第3回協議会 (令和2年2月27日 (木) 19:30～)

- ・後期の取組状況について
- ・学校評価 (年度末評価) 結果について

### (3) 協議会における成果と課題

学校評価結果や児童の活動の様子をもとに、学校運営や教育活動に対して建設的な意見交換をすることができた。また、熱中症防止の視点から地区と合同の体育大会の開催時期についての見直しについて検討することができた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

体験を通して、ふるさと (中名田地区) の歴史、伝統産業、文化などの良さにふれるとともに、地域の人々と協働しながら、未来の中名田のためにできることを発信する。

### (2) 活動の実際

#### ① 「中名田をPRする歌を作ろう (5・6年生)」

中名田のすばらしさを再確認するために、また、中名田のPR体験活動に用いるために歌作りに取り組んだ。全校児童が中名田地区のよいところを考え、5・6年生がそのフレーズを紡ぎ合わせることで、ふるさとへの想いが詰まった「中名田はいいところ」の歌詞を完成させた。そして、児童がその歌詞に思い思いの曲をつけ、そのリズムをもとにメロディーを編曲した。プロの音楽家の協力も得て、本格的な伴奏も完成させた。歌のレコーディングやCDジャケット作成もすべて児童が手を使った。CDは地域に配布するとともに、様々な機会に児童の歌の披露を通して中名田をPRしている。



#### ② 「発信しよう 中名田のすばらしさ、

#### 考えよう 中名田の未来 (1～6年)」

5・6年生は中名田の伝統産業である若狭和紙と新たな町おこしの取組である茅の生産について、体験活動を通して学んだ。そのうち若狭和紙については、生産に携わる方々をゲスト・ティーチャーとしてお招きし、紙すきを教えていただきながら自分たちですいた和紙で箸袋を作った。その箸袋に小浜市の伝統工芸品である若狭箸を入れたプレゼントを用意し、6年生は修学旅行1日目の奈良公園で外国人観光客にふるさと中名田と小浜市をPRする活動に取り組んだ。



(様式3)

**(3) 地域コーディネーターの活動概要**

各学年のふるさと体験学習の計画・立案に対する助言や適切なゲスト・ティーチャーの紹介、および体験活動の際には準備や児童への指導を行った。

**(4) 特に工夫した事項**

- ・地域の教育力を最大限活用できるよう、地域コーディネーターの助言を得ながら、適切なゲスト・ティーチャーを依頼した。
- ・地域のために自分たちがどのようにかかわることができるかを考えられるような体験活動になるよう工夫し、学年の発達段階に応じた提案ができるようにした。

**(5) 成果と課題**

本校のふるさと体験学習は、「知る→協働する→発信する」という段階を踏んでいるが、これまで高学年が中心になっていた「協働する」「発信する」の活動を中学年・低学年にまで広げた。このことにより、どの学年も発達段階に応じて地域の一員としての自分の役割を自覚し、地域のために具体的に行動していこうとする意欲を育むことができたのではないかと考える。今後、「ふるさと」の範囲を中名田地区以外にも広げていきながら、ふるさとの未来を地域とともに考え、協働し、発信していく学習の充実を目指していきたい。